

2010年5月

2010年度東地区部会研究講演会のご案内

東地区部会
東地区部会研究部

総会当日の午後、下記のとおり「大学図書館の将来について」と題した研究講演会を開催いたしますので、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

近年、大学図書館は、インターネットの普及やジャーナル・図書資料の電子化等による各種情報の多様化に伴い、利用者である教職員、学生、その他研究に係る者に対し、これらを効果的、効率的に提供することが必要不可欠となりつつあります。

このような大学図書館を取り巻く環境の変化に伴い、図書館のみならず、教職員、学生、その他研究に係る者の情報行動や、学術出版界も変化を遂げるものと考えられます。

これら近未来に起こりうる事象を予測し、10年後の大学図書館機能がどうあるべきか、研究者を始めとする学生、大学、それぞれの視点からの問題提起、また、現在各大学で構築されている機関リポジトリ、オープンアクセスをはじめとして、変革の時を迎えている学術情報流通において問題となっているもの、また、今後どのようなことを考えていかななくてはならないのかなどを、倉田氏、土屋氏のお二人の先生からお話いただきます。

記

日時 2010年6月11日(金) 13:45～16:45

場所 明星大学 大学会館3階会議室

講演 大学図書館の将来について

(1) 「研究者の情報行動と学術情報流通の現況と将来：

図書館としてどう考えるのか」

慶應義塾大学文学部 教授 倉田敬子氏

(2) 「研究者・学生・大学にとっての10年後の大学図書館とは」

千葉大学文学部 教授 土屋俊氏